

## :: 未来への展望

### 目標達成

2007年、営業金額目標1兆8,200億円を達成し、就業者数目標52,000人を達成する。

### 精密機械産業の発展推進

南科におけるオプトエレクトロニクス産業及び集積回路(IC)産業の急速な発展に伴い、園区内の精密機械産業の生産高は2005年の177億円から2006年の480億円にまで成長し、270%の成長率を記録した。そして、現在、精密機械産業は科学園区の第三大産業に発展している。

産業拠点としての効率を上げ、国内の設備製造率を向上させる為、「南科FPD設備産業メーカー導入及び企業サービス」計画を委託実施する予定であり、完全な部品供給チェーンを構築する。また、産業力向上のため日本に企業誘致活動を行った。日本のオプトエレクトロニクス及びIC製造設備メーカーの誘致を進め、引き続き、日本企業に対し南科への工場設立の誘致に力を入れる。この他、国外の設備メーカーの技術移転を推進し、また国内メーカーと国外メーカーの技術協力を進め、基幹部品製造から本体機械製造へと製造技術の向上を図る。

### バイオテクノロジー産業拠点の強化

「バイオ技術医療器材産業特区の設立とメーカー誘致推進計画」を継続して推進し、短期的には歯科用器具及び手術用器械産業を中心に実施し、長期的には台湾南部におけるバイオ技術産業の一大拠点を形成することを目標としている。

産業全体の発展を期するため、各メーカーに対し、高雄園区内のバイオ技術医療器材産業特区への誘致を進め、国内外の医療器材産業発展の情勢及び戦略について分析を行う。

### 高雄園区の電気通信産業の発展推進

高雄電気通信園区、及び情報通信産業の交流計画を推進する。

媒合工研院南部事務所が高雄園区内に設置しているデジタル家庭及びデジタルテレビ検証実験室、電気通信技術センター実験室が推進しているWiMAXのエネルギー検証計画、高雄県政府及び大同会社のM-Taiwan建設計画について、協力して南科内のWiMAX検証機構設立を目指す。

### 国立南科国際実験高級中学の環境整備推進

南科国際実験高級中学の小学部の校舎の整備を進める。

バイリンガル部の外国人教師招聘に力を入れる。

高等部の敷地及び校舎の整備の企画設計を推進する。

### 国際社会との連携強化

特定の企業を対象にした誘致活動を継続し、合わせて、より多くの日本のオプトエレクトロニクス産業メーカーの南科への誘致を年度目標として訪日し誘致活動を行う。

### 人材育成と技術革新の推進

専門技術人材育成計画を継続して実施し、2007年、参加者は延べ1,200人以上に達する予定である。

また、国科会科学工業園区人材育成補助計画、技術革新研究発展奨励計画、高級管理講座及びフォーラムの開催等の諸活動を継続して実施する。

高雄園区の「産学創新センター委託運営計画」を引き続き推進し、産業と学術の協力発展のためのプラットフォームを提供し、長期的には地域の産業交流センターに発展していくことを目指す。

## 基礎建設の推進

台南県政府が進める台南園區交通輸送網の建設を含め、園區周辺の交通網整備を引き続き推進していく。例えば、園區内の駐車場、またレッカー車、自転車等の交通管理業務を強化する。

引き続き、台南園區のブロードバンドシステムの構築を推進し、台南園區内の二期基地西北区第一区及び第二区の開発工事を完成させる。

高雄園區内の第一期第三区工業区開発工事、第二期第一区工業区開発工事、住宅区高架給水塔及び配水池工事を完成させる。

## 生活機能の充実

2007年2月、台南園區内のpark17ビル2階に、香港飲茶や海鮮料理が楽しめ、ラウンジバーもある万龍レストランがオープンする。

2007年5月、台南園區サービスセンターに、湖南料理、広東料理専門のレストランバー、経理大レストランがオープンし、また、迎曦湖畔にSAWA西洋レストランがオープンする。

2007年6月、台南園區サービスセンター3階に商工サービス特区が設けられ、中央産物保険、明台産物保険、致遠会計士事務所、雄獅旅行社、及び均立有限会社の各社が進駐する。

2007年7月、台南園區地域センターが開幕し、センター内には児童保育施設やファストフード店、中華レストラン、美容室、生活用品店などが入る。また、ここでは地域読書会や親子教室などが行われる予定であり、園区内にアットホームな雰囲気生まれることが期待される。

2007年9月、台南園區健康生活館がオープンする。フィットネスクラブやプール、また体育館等の施設で様々なスポーツを楽しむことができ、リラックスした時間を過ごす事ができる。どうぞ、皆様もこちらのSPAへお越しください。お待ちしております。

また、台南園區南科会館の建設はBOT形式で行われ、2007年12月に契約が交わされる予定であり、ここには会議室、訓練センター、また宿泊施設が設けられる予定である。

更に、2007年の計画として台南園區の立体駐車場に自動車整備サービスを導入し、また、高雄園區の居住区域にレストラン、コンビニ、クリーニングサービス等の生活機能施設を設ける計画がある。並びに、台南園區第三期の単身者宿舍、及び家族宿舍、また高雄園區第一期の職員宿舍の借受を開放し、園区内の各施設の整備、統合を推進し、園区的生活機能の向上を図る。

## 安全な永続可能な環境の整備

安全な生産環境を整える為、行政院の233災害事故防止法案を継続して実行し、2006年と2007年の二年間で事故30%減の目標を達成する。

また、積極的に廃棄物減量と資源の再利用を推進し、台南園區資源リサイクルセンターを環境保護署の「2007年度事業廃棄物、リサイクル資源の処理、及び資源減量回収リサイクル優良事業」に推薦する。

園区内の治安環境の強化に努め、園区の警備員の増加を申請する。

また、年度節水量100万トンの目標を達成する。

全面的に情報デジタル化サービス機能を高め、建築管理情報システムの構築及び園区内の電子通信サービスなどを推進する。